

# 伝統をつないだ富士見町消防団

第59回県消防ポンプ操法大会が中野市で開かれ、諏訪地区代表としポンプ車操法の部に出場した富士見町第一分団が優勝しました。3年ぶりです。小型ポンプ操法は諏訪市（第八分団）が優勝し、諏訪地区のアベック優勝となりました。

町議会は、帰町後の優勝パレード、報告会・祝勝会にも参加しました。



トロフィーを手に県大会優勝を喜ぶ第一分団の分団員

## 第一分団、県消防ポンプ操法大会で優勝

報告会で久保井淳団長は「先輩たちがこれまで成し遂げてきた優勝の伝統をつないでくれた」と団員の功績をたたえ、久保田康彦分団長は「優勝へのプレッシャーを感じる様子もなく、いつも通りの操法を実践してくれた分団員を誇りに思う」と厳しい訓練の労をねぎらいました。

県大会の会場では成績発表を受けて、金子ゆかり諏訪市長が小林一彦町長（当時）に握手を求め、アベック優勝とともに喜びました。

来年は2年に一度の全国大会の年であり、富士見町消防団の一層の活躍に期待を寄せました。



県大会のアベック優勝を喜び、握手をする金子ゆかり諏訪市長（左）と小林一彦町長（当時）

## 議会傍聴者の感想

### □新たなまちづくりの推進を

新町長が8月に誕生したので、初めて一般質問を傍聴しました。傍聴席に座ると、質問の残り時間を示す時計の位置に違和感を覚えました。議場正面に置かれていますが、一般質問に集中できるよう、置く場所を変えたいと思います。

少子高齢化・人口減少時代を迎える中で、富士見町が基礎自治体として生き残るためには、産業振興・雇用の創出、福祉・教育・環境や、行政区の在り方など多くの課題があります。議員の皆さんは、「町が現状のままでは近い将来、維持できなくなる」という強い危機感を持ち、お任せ行政ではなく、先進的な提案を町長に行い、新たなまちづくりを推進することを期待します。  
（立沢 小池 六左工門 67）

### □町政への期待が膨らんだ

町からの配布物は、さっと目を通すだけですが、議場での実際のやりとりは、町側と議会の両者の話を聞けてよい。新町長の答弁は真剣かつ謙虚で、好感を持ってました。これからの町政への期待が大きく膨らみました。町執行機関、議員の皆さんが富士見町のために、ご尽力されていることに敬意を表します。  
（池袋 内田 勝美 72）

### 【編集後記】

#### 人が人を呼ぶ施策を

新町長就任後の初議会となった9月定例会から早2カ月が過ぎました。副町長など十数年間の実績を持つ新しいリーダーの手腕に期待します。季節も秋から冬へ向かおうとしています。全国各地の自治体で人口減少対策が課題となっています。議員として行政視察、所管事務調査、セミナーなどに参加し、感じることは「予算規模の大きな自治体のマネをしてもダメ」ということです。肝心なことは「マーケティング」。人が人を呼ぶような施策を考えていきたいと思います。

（議会広報編集委員会副委員長 矢島 尚）

### <富士見町議会へご意見をお寄せください>

【No.151】平成29年11月1日発行 発行：富士見町議会 / 編集：議会広報編集委員会

委員長：川合弘人 / 副委員長：矢島 尚 / 委員：小池 勇 五味 高幸

〒399-0292 長野県諏訪郡富士見町落合 10777

TEL：0266-62-9403 FAX：0266-62-9320 E-mail：gikai@town.fujimi.lg.jp